

スダジイ

か めい
科名 ブナ

べつ めい
別名 イタジイ

がく めい
学名 *Castanopsis sieboldii*



く ぶん
区 分 木本類

ぶん ぶん
分 布 本州 (福島県、新潟県以西)、四国、九州、沖縄、済州島

は かたち
葉 の 形 被針形、長卵形

は ふち
葉 の 縁 鋸歯

は さき
葉 の 先 鋭尖形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きふ くさびがた えんけい
葉 の 基部 くさび形、円形

み しゅるい けんか
実 の 種類 堅果

はな がくいろ きいろ
花・萼色 黄色

せつめい
説 明 低地から山地に生育し、高さが20mを超える高木になります。葉は互生し鋸歯があるものと無いものがあり、表面は深緑色で光沢があり裏面は灰褐色になります。雄花は穂状花序で葉腋から下を向き、強い香りを出し、長さ6-8cmになります。実は堅果で、長さ1.5cm程度です。西表島の森林を構成する代表的な照葉樹の一つです。